

上期・第7号(平成25年8月発行)

平成25年度 安全基本方針  
安全スローガン

『作業前KYを実施し、安全作業を徹底させよう!』  
『徹底しよう安全作業 習慣づけようKYミーティング』

Vol.7

# HB だより

## 平成二十五年度の品質方針目標決定

### 品質方針 信頼をえる為に 心をこめて考動する!

#### 品質目標

- 1. 社員及び協力会社の安全意識の向上【KY活動100%実施】
- 2. 考動できる人材(財)育成教育の実施【各種計画推進100%実施】
- 3. 効果を生みだす巡回パトロールの実施【各種巡回パトロール100%実施】
- 4. クレームを活かした作業所づくり【24時間以内の一次処理報告100%実施】
- 5. 業務効率化及び原価削減の為の改善提案【各部年間2件以上】
- 6. 売上向上【前年対比3%】

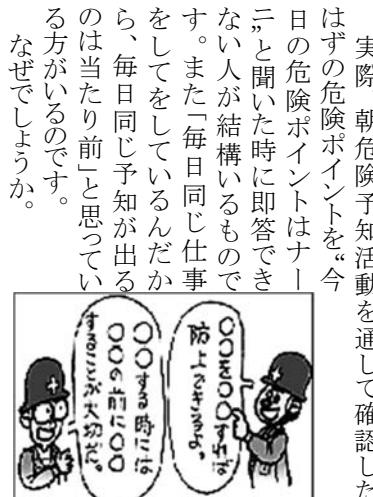
2013年7月1日

ハウス美装工業株式会社  
社長 新谷 清二

平成二十五年度の品質方針と品質目標が決定しました。

今年度は、お客様から信頼をえる為に、従業員一人ひとりが自ら考えて行動し、全従業員で品質目標(六項目)をすべて達成できるように、毎日の業務を行っていきたいと思います。

ひとりの従業員の考動で、会社が信頼をえることができるような企業を目指し、社長、専務を筆頭に、全社員で日々頑張つていきたと思います。



## 労働災害防止への提言 危険予知活動の大切さを認識せよ!

当社でも取り組んでいるKY活動、全作業所で毎日実施していることだと思います。

危険予知訓練は、作業所で実際に作業に従事する作業者が、事故や災害を未然に防ぐことを目的に、その作業に潜む危険を予想し、指摘しあう訓練です。毎日の始業時や動作時に指差喚呼を行い危険性の再確認をし、さらに安全性を高める活動をKY活動と呼びます。

普通の危険予知活動は、まず当日の仕事の内容や手順などを確認し、それに対してもう一つ危険が潜んでいるかを予測して、その対策を確認する。というやり方が一般的であろうと思います。それもごく短時間で行うもので、やたら時間をかけても無意味であるとされています。

しかし、それは単なる形式的に過ぎず、そのための大切さを感じている人は意外に少ないと思われます。

なぜでしょうか。それは、本当に必要性を感じていないからだと思います。毎日同じ内容を唱和するだけではうんざりしてくるものです。そんな形式だけのことをするなら仕事を早くしたほうがいいよ。という感情になつてくるのです。

実際、朝危険予知活動を通して確認したはずの危険ポイントを“今日の危険ポイントはナニ”と聞いた時に即答できない人が結構いるものでなつてくるのです。また「毎日同じ仕事をしてをしているんだから、毎日同じ予知が出るのは当たり前」と思っている方があるのです。

たとえ同じ作業が続き記録する内容が同じでも、確実に環境は変わつており、気分的には同じではないということを認識すべきなのです。計画すること自体が予測しているので、予測することがいかに大切かを肌で感じれば分かるはずです。また、感じて欲しいと思います。その記録を残すというのは確かに大切であります。

業務部・総務部

この、危険予知活動における、予測するということがいかに大切なことを教えるべきと考えています。また、作業主任者あるいは班長といった人々は、予測することがいかに大切であるかを形式ではなく肌で感じるくらいの認識度を深めるべきです。

しかし、記録を残すために危険予知活動をしているという勘違いだけはしないで欲しいですね。

KY活動は“やらされている”あるいは“記録を残さなければならない”など、仕方がないからと言つた強制思考があるからです。



